

介護職員等特定処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

介護職員の処遇改善につきましては、これまでも何度かの取り組みが行われてきました。

令和元（2019）年10月の消費税率引き上げに伴う介護報酬改定において「介護職員等特定処遇改善加算」が創設され、当法人におきましても加算算定を行っております。

当該加算を算定するにあたり、下記の3つの要件を満たしている必要があります。

- A 現行の介護職員処遇改善加算（Ⅰ）から（Ⅲ）のいずれかを取得していること。
- B 介護職員処遇改善加算の職場環境等要件に関し、「入職促進に向けた取組」「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」「両立支援・多様な働き方の推進」「腰痛を含む心身の健康管理」「生産性向上のための業務改善の取組」「やりがい・働きがいの醸成」の各区分で、それぞれ1つ以上の取組を行っていること。
- C 介護職員処遇改善加算に基づく取組について、ホームページへの掲載等を通じた見える化を行っていること。

以上の要件に基づき、当法人における処遇改善に関する算定状況、及び具体的な取り組み（賃金以外）につきまして、以下の通り公表いたします。

当法人の介護職員処遇改善加算及び介護職員特定処遇改善加算の算定状況

施設名	介護職員処遇改善加算	介護職員特定処遇改善加算
藤島園	I	I
藤島園ショートステイ	I	I
ケアハウス藤島園	I	I
藤島園デイサービスセンター	I	I
デイサービスふじしま	I	I
グループホームふじしま	I	I
第2藤島園そよかぜホーム	I	I
第2藤島園そよかぜホームショートステイ	I	I
リハサロンふじしま	I	—

当法人の職場環境等要件について

	職場環境等要件項目	当法人としての取組
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者、有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	ハローワーク、ホームページ、民間人材紹介会社、地域へのチラシ、職員からの紹介等により、他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者、有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築している。
	職業体験の受入や地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	市内の高校・中学校の職業体験受入、大学生のインターンシップ受入、社会福祉系の大学・短大・専門学校からの介護実習・保育実習の受入、その他官公庁・団体等からの実習受入、地域の行事参加等により介護保育の職業魅力向上の取組を実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を習得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅食員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得支援制度を導入し、研修費用の補助、研修は勤務扱いとする勤務シフトの考慮等を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。各種研修受講については、受講希望研修を募り階層別に職員を選抜し、計画的に育成を行っている。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	毎年夏冬の年2回の人事考課後のフィードバック面談を実施。上位者（管理者）との面談の中でキャリアアップ等に関する相談を行っている。

両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	仕事と子育ての両立を促し、育児休業やシフト上の配慮、時短制度の利用実績もある。施設内に職員専用の利用料金無料の託児所を設置している。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	家庭事情により勤務時間に制限のある職員に応じたシフト対応、3歳未満の子育中の正職員の短時間勤務対応、非正規職員から正規職員への転換を奨励している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	パソコンのグループウェア上で有給休暇取得申請が出来、本人の有給休暇残日数が確認できるようにしている。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	介護ケアの基準書を会社独自に作成し、ケアの基準書に基づいた3大介助の介護技術の共有を各事業所で勉強会を定期的に行っている。移乗用の介護リフトや介護ロボット等の介護機器を導入し腰痛対策を実施している。また、腰痛対策用に腰痛対策ベルトを介護職員全員に貸与している。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間勤務労働者等も含めて健康診断、及びストレスチェックを実施している。従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施している。

生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	介護ソフト「ウインケア」及びタブレット・パソコンの活用による情報共有と記録の電子化、専用ファイルサーバーでの資料等の共有化、また見守りセンサー「眠りスキャン」の導入により業務効率化を行い負担軽減を図っている。
	高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化	食事の配膳・下膳や居室やフロア等の掃除などの介護業務以外の業務を行う高齢者の雇用を行っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	介護ケアの基準書を会社独自に作成し介護の3大介助について社内で介護ケアの統一を進めている。記録・報告については、介護ソフト「ウインケア」及びタブレット・パソコンの活用による情報共有と記録の電子化、専用ファイルサーバーでの資料等の共有化により業務効率化を行い負担軽減を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の充実	申し送りはソフトの利用だけでなく、随時ミーティングを行い、業務内容やケア内容の改善を図っている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域行事に参加し住民との交流を図っている。地域の学校を訪問して介護に関する講義を行い生徒と交流を行っている。